資料５

地域ごとの取組状況について

《地域名》県央広域振興圏	管轄部局：盛岡広域振興局

《取組状況》

１　イベント等における取組状況（10 月～12 月）

〔ゆるキャラ®グランプリ 2020 THE FINAL 未来へつなぐ いわて幸せ大作戦！！（滝沢市）〕
（10 月３日（土）、４日（日））

全国から２日間で延べ約 14,000 人が来場。来場者に対しては、**来場時の検温とマスク着用、アルコール消毒**とともに、**氏名、連絡先の記入を要請**。また、**ゆるキャラと触れ合うエリアと飲食エリアを分けて運営**。

ゆるきゃらグランプリ 2020

〔2020 自園自醸ワイン紫波感謝祭（紫波町）〕（10 月３日（土）、４日（日））

来場者に対し、**会場での受付時に検温と連絡先の記入を要請**するとともに、**シャトルバス利用者には、バス乗車時に検温を要請するなど感染症対策を徹底**。併せて、マスク着用、こまめな手洗い、手指消毒を要請。

〔元祖しずくいし軽トラ市（雫石町）〕（10 月４日（日）、11 月１日（日））

出店台数は通常 60 台のところ、最大 50 台に縮小。出店者には、体温・体調管理チェック表の提出を義務付けるとともに、マスク着用・手指消毒を徹底。また、会場内には休憩スペース（テーブル、イス）を設置せず。

〔八幡平山賊まつり（八幡平市）〕（10 月 10 日（土）、11 日（日））

会場内に手指消毒用の消毒液を設置したほか、**来場者には氏名、住所、連絡先の記入及びマスクの着用を要請**。また、飲食コーナー（テーブル、イス）、ゴミ箱は設置せずにゴミ持ち帰りを要請。

八幡平山賊祭り

〔や市（矢巾町）〕（10 月 11 日（日））

露店の出店がある「せせらぎ通り」でアルコール消毒及び検温を実施。来場者には、マスク着用・ソーシャルディスタンスを保つことを要請。また、飲食コーナー（テーブル、イス）、ゴミ箱は設置せずにゴミ持ち帰りを要請。

や　市

〔くずまき町民まつり with まちあるき（葛巻町）〕
（10 月 11 日（日）～18 日（日））

当初、10 月 17 日～18 日の２日間、飲食を中心とした出店による町民まつりを開催予定だったが、３密を避けるため期間を長く設定し、**昨年度までメイン会場（葛巻町社会体育館）で実施していたイベントを、まちなかの各施設に会場を分散して開催**。併せて期間内に町内飲食店でスタンプラリーを実施。なお、ステージショー、ランニングバイクレース、千人鍋は中止。

〔小岩井農場100年の森がっこう（雫石町）〕（10月10日（土））
スタッフはマウスシールドを着用して対応。来場者にはソーシャルディスタンスを保つことを要請。会場内の手洗い場に石けん、消毒液を設置。

小岩井農場100年の森がっこう

〔あらえびすレコード定期コンサート（紫波町）〕
（10月18日（日）、11月15日（日）、12月20日（日））
収容定員最大120席のところ、**間隔を空け半分の60席で実施。講師（ステージ）と座席までの距離を２ｍ以上空ける**とともに、来場者の手指消毒、検温、連絡先の記入、**プログラムの手渡しを避ける等の感染症対策**を実施。

あらえびすレコード定期コンサート

〔盛岡市農業まつり（盛岡市）〕（10月24日（土）、25日（日））
来場者の検温と手指消毒を徹底するため出入口を３か所にするとともに、来場者にマスク着用を要請。密を回避するため、出店ブース間隔を２ｍとする予定。

〔ぶらっと一日体験工房の日（八幡平市）〕（10月25日（日）、11月22日（日）、12月20日（日））
※毎月１回、そば打ち、箸の絵付け等の体験を一人でも参加できる日として設定
参加者に、マスクの着用、大きな声を出さないこと、エプロンの持参、体験前後の手指消毒を要請。インストラクターもマスク着用して体験指導を実施。

〔フラワー＆ガーデン森の風イルミネーション（雫石町）〕（11月９日（月）～令和３年１月11日（月））
入園ゲートでの検温、手指消毒を実施するとともに、来場者にマスクの着用を要請。従業員に対しても１日３回の検温を実施するとともに、全従業員に新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を導入。

２　事業者への支援体制等の状況

○　八幡平市商工会において、１万円で１万２千円分使えるプレミアム商品券4,000セットを、10月15日から販売開始。販売時の密を避けるために、**販売対象者は事前予約制（申込多数により受付終了）とし、販売窓口は商工会のほか取扱店など、購買者を分散**する予定。
○　八幡平市商工会において、東北６県からの宿泊者を対象に、１人当たり2,000円の商品を購入できるクーポン券を市内の宿泊事業者に12,500人分を配布し、消費拡大を図っている。
○　岩手町商工会において、タクシーデリバリープロジェクト（５km まで無料）の実施期間を12月30日（水）まで延長した。

３　今後の取組

○　感染防止対策の徹底とイベント開催等の両立に向け、管内市町等との情報共有を図る。
○　**支部会議を随時開催し**、新しい生活様式に対応した**管内市町の感染防止への独自の取組について情報共有**を図るとともに、インフルエンザ流行期も見据えながら感染防止に連携して取り組む。
○　**支部会議について**、感染防止対策に加え、情報共有の迅速化を図るため**リモート形式で開催。**

《地域名》県南広域振興圏	管轄部局：県南広域振興局

《取組状況》

１　**イベント等における取組状況**

(1)　管内市町文化ホール担当者など文化芸術関係者を対象に、**withコロナ社会での新しい文化芸術の楽しみ方や、これからの文化芸術活動を考えるための研修会を開催**（振興局主催。９月２日講演会、９月30日ワークショップ。参加者数延べ46人）。
【マスクの着用依頼、受付への消毒液の設置、検温等を実施。】

(2)　県南エリアで行われるマラソン大会をつなぐ取組である**「県南レジェンドランナーズ」**は、今年度初めての**実走企画「プロギングＤＡＹ」**（ごみ拾いしながらジョギングするもの）を、９月27日に一関市で実施（参加者数46人）。
【マスクの着用依頼、受付への消毒液の設置、体調調査票の提出、検温、もしサポ・COCOAの利用依頼等を実施。】

(3)　北上市、西和賀町、金ケ崎町の飲食店等で、県内の旬の農畜産物を使った料理を提供する**「旬彩ごほうびフェア」**を開催中（10月１日～31日）であり、**参加飲食店等の新型コロナウイルス感染症対策を公式ホームページで発信中。**
【各店舗共通で実施する感染症対策（換気、消毒、従業員のマスク着用等）のほか、店舗ごとの感染症対策（隣席との間隔を空ける、パーテーション、個室の有無）を発信。】

(4)　８月の開催を見送った**「北上・みちのく芸能まつり」**は、来年につなげるための**特別公演を、無観客かつオンライン方式で開催し、ライブ動画を配信**（10月17日、18日）。

(5)　**「一関・平泉バルーンフェスティバル2020」**（10月16日～18日）は、主会場地へ一般客を入れないなど**ガイドラインを策定して実施。**
【関係者に２週間前からの検温を義務付け、ステージイベントや係留体験搭乗会の実施見送り等】

(6)　**「いちのせき秋まつり商工フェスタ」**（10月24日、25日）及び**「いちのせき秋まつり農業フェスタ」**（10月31日、11月１日）は、**新型コロナウイルス感染症対策を周知した上で実施予定。**
【マスクの着用依頼、体調が優れない場合等の参加自粛、来場者の代表者氏名・連絡先等の提出依頼、会場内に飲食・休憩スペースやゴミ箱を設けない等】

(7)　県南エリアの伝統工芸をはじめとするものづくりの現場を見学・体験する**「オープンファクトリー五感市**（ごかんいち）**」**は、今年度は「ＯＮ-ＬＩＮＥ

五感市」として、10月30日から各工房のライブ動画、視聴者参加企画、応援メッセージ等を配信予定。

２　事業者への支援等の状況

(1)　商工会、商工会議所を通じ、**「地域企業感染症対策等支援事業費補助事業」を周知し、事業者による感染症対策**（消毒液・マスクの購入、アクリル板の設置等）**を促進**。

(2)　県南広域振興局産業振興室及び花巻・一関総務センターに**「新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者向け金融相談窓口」**を設置し、出張相談、リモート相談に対応。

　また、管内市町や商工会議所等の商工関係支援窓口を結ぶ**「南いわて商工相談・支援ネットワーク」**を構築し、関係機関が連携しながら、事業者への支援策等に関する情報提供や相談対応を実施。

３　今後の取組

○　**新型コロナ感染症対策本部各地方支部委員会議**及び**感染症対策連絡会議等**により、引き続き管内各市町や関係機関・団体と情報共有し、連携していく。

○　感染リスクを抑えるため、今後も**ＩＴ技術を活用したイベント等の開催や情報発信**など、事業者の支援に取り組む。

○　企業を対象とした**人材確保・育成研修**（採用力向上研修、接遇研修等）や、定住促進や関係人口創出のための**セミナー**や**ワークショップ**を、引き続き**オンライン方式も活用**して実施。

《地域名》沿岸広域振興圏	管轄部局：沿岸広域振興局

《取組状況》

1　イベント等における取組状況

(1)　広域振興局

○　11 月 14、15 日、陸前高田市において開催する**屋外グルメイベント「三陸ぐるっと食堂 in 陸前高田」**では、会場出入口の限定、入場時の検温・手指消毒・接触確認アプリの登録確認、来場者のソーシャルディスタンス確保（出展ブース、イートインコーナー）等の**新型コロナ感染症対策を講じた上で実施**予定。

(2)　市町村等

（宮古市提供）

○　10 月３、４日、宮古市において**「宮古市産業まつり」**を開催。**沿岸地域で今年度初の大規模集客イベント**であるが、出店数を例年の半分程度とし、会場出入口の限定、入場時の氏名登録、検温、手指消毒、紙リストバンド（入場許可者の表示）着用等の対策を講じて実施した。**来場者数は２日間で約 7,500 人。**

（釜石市提供）

○　10 月９、10 日、釜石市において、**ラグビーワールドカップ 2019™岩手・釜石開催１年**を記念して、**「いわて・かまいしファンゾーン」イベント、「メモリアルマッチ」を開催。**接触確認アプリの登録確認、入場時の検温・手指消毒、声を出しての応援・ハイタッチ・握手の自粛等の対策を実施。来場者数は、ファンゾーンが２日間で 1,200 人、メモリアルマッチが 2,271 人。

○　10 月 31 日、陸前高田市において、2020 年の花火大会の中で**国内最大級**となる**「三陸花火大会」**を開催。**オフラインとオンラインが融合した花火大会**を目指し、マルチアングルのライブ配信を行うほか、**感染対策を徹底するため無料観覧エリア等は設けず、**全席有料の観覧席やチケット購入によるドライブイン形式の鑑賞エリアを設定。花火の打ち上げ前にはライブパフォーマンスや地元飲食店による「さんりくフードビレッジ」も開催。

2　事業者への支援体制等の状況

(1)　広域振興局

○　困難な経営環境を乗り越えようとする宿泊事業者を支援するため、**新型コロナウイルスにより先行きが不透明な経営環境下における宿泊・観光のあり方に関するセミナー**をオンライン（Zoom meeting）で実施（９月 24 日 21 人参加、10 月 22 日実施予定、11 月以降も毎月１回実施予定）。

○　**各保健所**では、**研修会や立入指導**により、**事業者による感染症対策**を推進。

（主な対象事業者）

・医療関係者　・飲食業者　・障害福祉サービス事業者　・介護保険事業者

（10 月までの研修会等開催回数、参加者数）

・釜石保健所　　11 回　196 人

・宮古保健所　　13 回　407 人

・大船渡保健所　7回　174 人

(2)　市町村・商工団体等

○　宿泊事業者を支援する市町村の割引事業は、地域の実情に応じ、**期間の延長**や**対象者を県内在住者から東北６県＋新潟県在住者**に広げる取組などを実施。

○　**生活衛生同業組合**では、**感染拡大予防ガイドライン実施のモデル店**となった**飲食店**に、同業者を集めた**勉強会を開催し、各店舗において対策を展開。**

○　**宮古地域雇用対策協議会**では、若者の管内就職や管内事業者の人材確保支援に向け、地元企業に対する理解を深めることを目的に開催する**「高校生しごとメッセ in 宮古」を** 11 月 26 日に開催することとしているが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、**学校ごとのオンラインでの参加方式に変更。**

○　**大船渡市内の宿泊・観光・製造・物販事業者で構成される「地域ブランディング研究会」**において、市内宿泊施設予約時に申請した利用者に対し、市内の飲食店で利用できる 3,000 円分の**「共通夕食券」**や地元の商品をもらえる**「お土産付きプラン」**のサービスを９月から開始。

○　**大船渡商工会議所**では、新型コロナウイルス感染症の下での若者の管内就職や管内事業者の人材確保の支援として、企業の魅力を発信する**「事業者紹介動画制作事業」**を実施。**YouTube での配信**や、映像をまとめた **DVD を制作し、管内高校に配布の予定。**

３　今後の取組

○　**「新しい生活様式」の実践**に向け、**新型コロナウイルス感染症対策本部支部会議**や**首長との意見交換**などを通じた**市町村との連携**と併せ、**広域振興局独自の地域経済対策事業を実施**。

（広域振興局地域経済対策事業の一例）

①　７月から９月まで実施した「夏いわて　さんりく夏日和キャンペーン」に引き続き、以下の事業を実施

・東日本大震災津波伝承館をゲートウェイとした周遊バスツアーの造成・催行

・タウン誌、フリーペーパー等を活用した観光イベント等の情報発信

②　気仙地区において工場施設見学等を内容とするマイクロ・ツーリズムを切り口としたモニターツアーを実施予定（12 月、２月）。

《地域名》県北広域振興圏	管轄部局：県北広域振興局

1　イベント等における取組状況

(1) 開催済みのイベントにおける感染対策実施事例

マスク着用、手指消毒、検温、もしサポや接触確認アプリ「COCOA」等による連絡先の把握などの基本的対策のほか、イベント毎に次の対策が行われた。

①　「ラジオ de ウォーキング in 天台寺」

・　10 月４日（日）、二戸市浄法寺町の滴生舎前広場

・　**定員を当初計画の半分（100 人）に制限。**

・　**開会式で、参加者間の一定の距離を確保。**

②　久慈地方物産展＆地産地消フェア

・　10 月 10 日（土）～11 日（日）、久慈市文化会館

・　**１か所とした会場入口で検温及び消毒を実施。**

・　**飲食スペースなし、テイクアウト商品のみ販売。**

③　平庭闘牛大会もみじ場所

・　10 月 18 日（日）、平庭高原闘牛場

・　**収容可能人数 1,500 名を 750 名に制限、事前予約。**

①	②	③

(2) 今後開催予定のイベントにおける感染対策

マスク着用やもしサポや接触確認アプリ「COCOA」等による連絡先の把握などの基本的な対策のほか、イベント毎に予定されている対策は次のとおり。

○　「カシオペアしごとメッセ 2020」

・　10 月 23 日（金）、なにゃーとにおいて二戸管内の高校生に地元企業をＰＲ。

・　参加者の事前把握を行った上で　**午前、午後に分けて**開催。

○　御所野縄文ＷＥＥＫ

・　10 月 30 日（金）～11 月８日（日）、御所野遺跡の新たな魅力発信を目的に一戸町で開催。

・　昨年度までの室内を中心とした開催から、今回は**屋外（御所野縄文公園）でも、人数制限を設けたイベント**を複数開催。

○　フォトロゲイニング大会

・　11 月８日（日）、普代村で開催。

・　**集合会場となる体育館での十分な換気及び参加者待機スペースの十分な確保**を行うほか、ゴール後の得点集計を**手計算から専用アプリで自動計算する**ことにより三密を回避。

２　事業者への支援体制等の状況

⑴ 広報、相談体制

○　久慈、二戸それぞれで毎月開催している**管内報道機関との定例懇談会**で各種イベント情報を提供しており、イベント毎の感染症対策も併せて周知。

○　県北管内全世帯配布（年２回）広報誌**「北いわて最前線」**及び久慈地域の**月刊タウン誌「ダ・なす」**の紙面を活用し、感染症対策を採った上で開催するイベントについて周知。

○　事業者等との**メーリングリスト**を利用し、コロナ関連支援制度等を定期的に情報提供。また、**北いわて食産業コーディネーター**が事業者を個別訪問し、ニーズに合わせた支援制度等を紹介。

○　**久慈商工会議所**では、地域企業経営継続支援事業費補助金（感染症対策等への支援）について、事業者が理解しやすいようチラシを独自に作製し、周知に活用。

○　**NPO 法人やませデザイン会議**では、７月から非営利団体向けに非接触型体温計、「検温中」ののぼり旗、のぼり旗用室内スタンド、フェイスシールド、手指消毒剤などを貸出し。

⑵ 地域経営推進費を活用した事業

○　**コロナ禍にある管内飲食店等を支援**するため、持ち帰り・出前等の「新しい生活様式」を実践している飲食店をＰＲ。

- 一般社団法人久慈青年会議所と連携し、のぼり旗、宣伝ポスター・チラシ・ＱＲコードステッカーを作製。
- 一般社団法人カシオペア青年会議所と連携し、飲食店情報を掲載したリーフレット２万５千部を管内全戸配布（11 月）。
- 事業者が行う物産展等への出展経費の一部を支援予定（11 月～）。

○　**需要が落ち込んでいるウニ及びすきコンブの需要拡大**のため、久慈地域「海の幸」ＰＲ協議会と連携し、漁協・水産加工業者・鮮魚店が行う消費者向け直販事業の実施、ホームページの開設、パンフレットや動画の作製等を支援。

３　今後の取組

⑴ 地方支部委員会議を随時開催するとともに、事業者等とのメーリングリスト等を活用し、**市町村等関係機関と情報共有**を図りながら、**連携して感染拡大の防止及び社会・経済活動の両立**に取り組む。

⑵ **地域経営推進費を活用**し、**必要な事業を機動的に実施**していく。当面、沿岸広域振興局と連携し、地域に人を呼び込む事業を実施する。

○　SNS を利用した「さんてつフォトコンテスト」の開催（11 月～２月予定）

- Instagram を利用した三陸鉄道にまつわる投稿写真のコンテスト。

○　マンガを活用した三陸沿岸道路沿線の飲食店ＰＲ（２月予定）

- 三陸沿岸の人気ラーメン店をマンガで紹介するガイドブック約 12,000 部を発行。